

2012年7月28日(土) 【参加者 20名(大人15名、子供5名)】

講師 白鳥 元巳 氏(全国森林インストラクター)



川崎市で一番自然度の高い黒川地区を昆虫や植物を観察しながら散策してきました。当日は朝から気温が高く、熱中症の心配をしつつ、集合場所の小田急はるひ野駅を出発しました。住宅街をしばらく歩くと、目の前に森が出現。中に入っていくと、そこには雑木林に囲まれた水辺のある里山の風景がありました。シオカラトンボ、タマムシ、クワガタ、カブトムシ、ルリボシカミキリ・・・などなど、たくさんの虫に出会うことができました。里山の風景を見ながら木陰で昼食を取った後は、標高 144.3mの諏訪ヶ岳に登りました。山の中を歩いているとウグイスなどの野鳥の音が聞こえました。山を下ると樹齢 400 年の桜の木を見ることができました。今回は猛暑の中での散策になってしまいましたが、子供たちは虫を見つけるたびに歓声をあげ、触ったり、写真撮影をしたり、貴重な体験をすることができました。



小田急はるひ野駅を出発し住宅街を散策



森の中へ



里山周辺を散策



バッタを手づかみ



水辺の周辺にはシオカラトンボがたくさん飛んでいました。



ルリボシカミキリ
木の中に卵を産み付けている姿も観察できました。



白鳥先生には草を使った遊びも教えてもらいました。



タマムシ



袋にバナナを入れたものを3日前に木に仕掛けておきました。見に行くとカブトムシが！